



平成 24 年 2 月 10 日

各位

上場会社名	特種東海製紙株式会社
代表者	代表取締役社長 三澤 清利
(コード番号)	3708 東証第 1 部)
問合せ先責任者	取締役財務・IR 室長 関根常夫
(TEL	03-3281-8581)

特別損失の発生に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期第 3 四半期におきまして、下記の通り特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 経緯

当社グループは、昨年秋「第二次中期経営計画」を発表し基本テーマ「深化。そして、進化。」の下、「基盤事業の徹底的な強化」及び「成長路線に向けた新たな変化」を掲げ競争力のある企業体を目指しております。同時に、総資産のスリム化を図り、固定費の更なる圧縮や資産効率の改善をしていきたいと考えております。

基盤事業強化の具体的政策の 1 つとしては、事業部制移行後に作成された「第二次中期経営計画」に沿った「利益管理」及び「適正な生産管理」が実現出来るよう体制強化を図り、経営判断をより詳細な粒度にて行うことといたしました。

この結果、当社グループは、資産のグルーピング単位を、「主として管理会計上の事業所」単位から経営判断の最小単位である「主として管理会計上の製品群」単位とすることといたしました。このグルーピング単位にて減損損失の認識の要否を調査した結果、一部の「製品群」において認識の必要性が判明したため、減損損失を計上することとなりました。

また同時に、保有する固定資産の使用可能性について検討を行った結果、不要資産と判断した資産について除却することといたしました。

2. 特別損失の内容

(1) 固定資産の減損損失

グルーピング単位を「主として管理会計上の製品群」単位へ見直したことに伴い、島田工場の一部の「製品群」について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。この結果、当第 3 四半期において、2,926 百万円の減損損失を計上いたします。

(2) 固定資産の除却

固定資産の精査を行い不要資産と判断した資産について除却いたしました。この結果、当第 3 四半期において 785 百万円の固定資産除却損を計上いたします。

3. 今後の見通し

平成 24 年 3 月期の連結業績予想につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

以上